

福島第一原子力発電所現地確認報告書

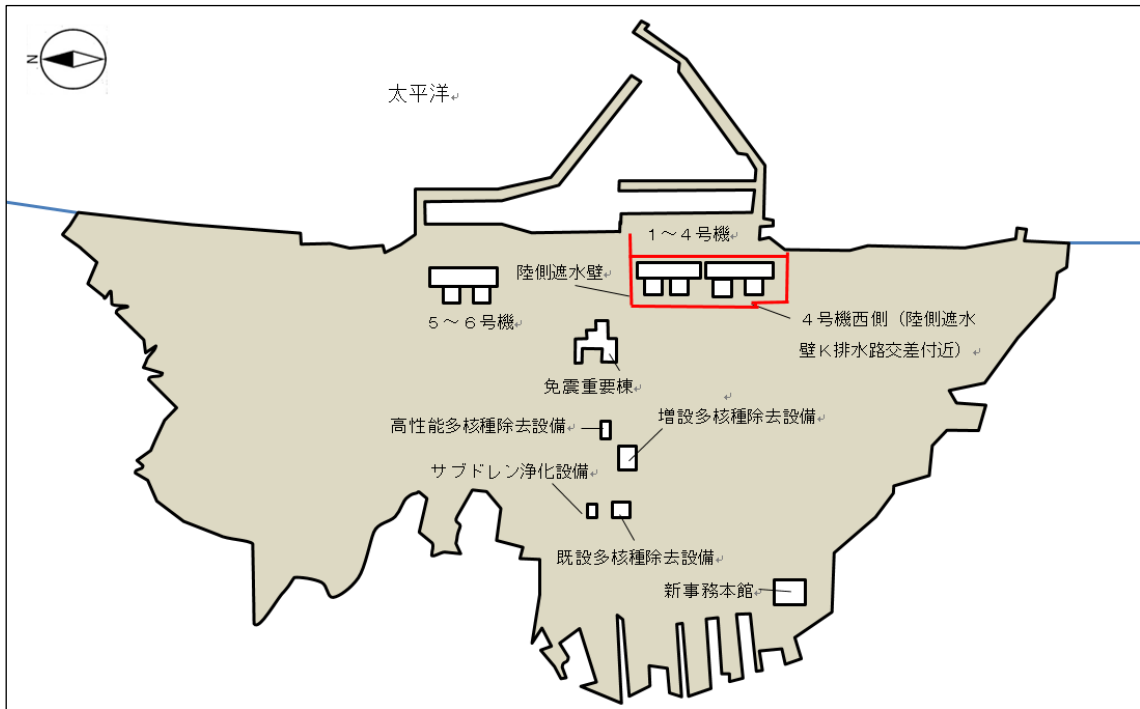
- 1 確認日
令和3年11月15日（月）
- 2 確認箇所
4号機西側（陸側遮水壁K排水路交差付近）
- 3 確認項目
陸側遮水壁測温管の温度上昇の状況

4 確認結果の概要

汚染水の発生抑制が求められるなか原子炉建屋等へ流れ込む地下水量を抑えるため1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）（以下「遮水壁」という。）について、一部の地中温度が今年8月下旬から上昇し、10月13日時点で0℃を超えている状態が継続している事象が確認された。その後、K排水路を調査したところ、底部から地下水の流入が確認されたことから、遮水壁内側（東側）のK排水路交差付近で掘削調査が行われている。（図1）

前回の現地確認（11月12日）では地盤掘削などが行われていたことから、その後の状況を確認した。

- ・東京電力によれば、11月12日までの調査で約2.7m以深の地中温度が0℃以下であることや、遮水壁内側（東側）の掘削範囲に地下水がないことなどが確認されたことから、遮水壁は正常に機能しているとし、今後、遮水壁外側（西側）の地盤等の調査を行う予定としている。
- ・遮水壁内側（東側）での作業は行われておらず、掘削箇所はネット及びシートにより養生され、また、周辺に設置されていた土嚢も撤去されていた。（写真1）
- ・遮水壁外側（西側）では地盤調査を行うため、掘削作業に支障となる遮水壁日除け屋根の支柱を移動する作業が行われていた。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
遮水壁内側（東側）の掘削箇所の状況（令和3年11月12日撮影）



(写真1-2)
同左（令和3年11月15日撮影）



(写真2-1)
遮水壁外側（西側）の状況
（北側から南側を撮影）



(写真 2 - 2)
支柱の移動作業の状況①



(写真 2 - 3)
支柱の移動作業の状況②

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。